

2022年度 天文・天体物理若手の会 サーキュラー第1号



- p. 2 2022年度新事務局長からの挨拶と
新事務局員紹介
- p. 3 2022年度秋季総会の結果報告
- p. 4-5 2021年度事務局長からの挨拶と
組織再編
- p. 6 若手の会ホームページ紹介
- p. 7 第8期代議員募集のお知らせ
- p. 8 編集後記

2022年度 新事務局長からの挨拶



久世 陸（東北大学D1）

2022年度天文・天体物理若手の会事務局の事務局長を務めます、東北大学の久世と申します。
組織再編など変化のある年になりますので、みなさまの協力を得ながら若手の会の職務を行なっていく所存です。
どうぞよろしくお願いいたします。

新事務局員紹介

事務局長	久世 陸	(東北大学 D1)
副事務局長	大工原 一貴	(東北大学 D1)
副事務局長	秋葉 健志	(筑波大学 M2)
会計	土本 菜々恵	(東北大学 D1)
書記・広報	大滝 恒輝	(筑波大学 D2)
書記・広報	武者野 拓也	(筑波大学 D1)
名簿	鈴木 善久	(東北大学 M2)
Web	桑田 明日香	(東北大学 D1)
Web	尾形 絵梨花	(筑波大学 D1)

2022年度 秋季総会の結果報告

2022年9月20日に行われた秋季総会の議決結果を報告します。

Google form による有効投票数 36（重複なし）

議案1：若手の会事務局 2021 年度の決算報告の審議
賛成 36 票 反対 0 票 棄権 0 票

議案2：若手の会事務局 2022 年度予算案の審議
賛成 36 票 反対 0 票 棄権 0 票

議案3：若手の会事務局の組織再編の審議
賛成 36 票 反対 0 票 棄権 0 票

【可決の基準】

規約11条に準拠し、各議題に対して以下の両方が満たされること。

- (1) 有効投票数が会員数の8分の1よりも多い
- (2) 賛成数が有効投票数の過半数

有効投票数 36 は、総会開催時点の会員数 158 名の8分の1よりも多く、賛成数は有効投票数の過半数であるため、これらの議題は、すべて可決されました。

2021年度 事務局長からの挨拶

2021年度の天文・天体物理若手の会の活動にご協力いただき、ありがとうございました。コロナ禍が収束したとは言えない状況下での運営で、イレギュラーな事案も多少ありましたが、無事ここまで来れて安心している次第です。

私たちが提案した若手の会の組織再編の議論はありますが、若手研究者で組織される団体の存在意義は決して小さくないと信じております。2022年度以降も天文・天体物理若手の会をよろしく願いいたします。

松岡 知紀（京都大学D3）

組織再編について ①

秋季総会にて、天文・天体物理若手の会の組織再編が可決されました。その概要をまとめます。

○ どうして組織再編するの？

- **会費の徴収相手と還元先がミスマッチしている。**
徴収相手は若手の会会員。会費の主な利用方法はサーバー代やドメイン使用料、総会Zoom使用料。主な利用は夏の学校時に集中する。そのため還元先は夏の学校参加者（若手の会の非会員も含む）ということになっている。
- **会員数が年々減少している。**
2015年ごろは400人程度いたが、2022年度は150人程度であり、十分な額の会費を集めることが難しくなる。
- **代議員選出**
天文学会代議員に若手の会から推薦者を送り込むことは、天文学会と大学院生を中心とする若手研究者の意思疎通を可能にすることにつながる。そのため若手の会という組織の存続自体は重要である。

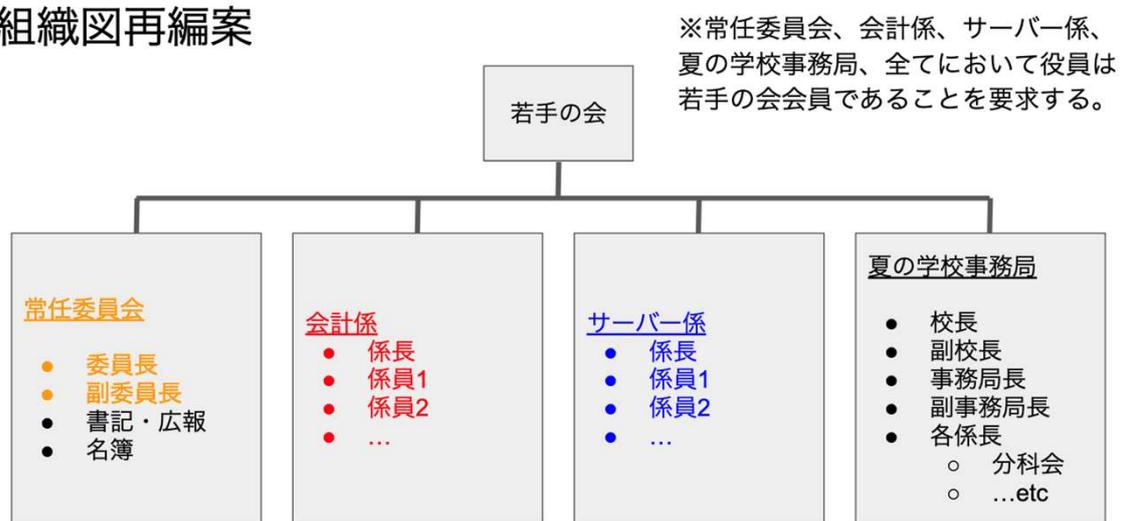
そのため、若手の会事務局、夏の学校事務局の組織図を再編し、会費を徴収せずとも存在意義を確立できる組織運営を図る。

組織再編について ②

○再編後はどう変わるの？

- 下図のように、若手の会の下部組織として「常任委員会」「会計係」「サーバー係」「夏の学校事務局」を設置する。
 - **常任委員会**：旧若手の会事務局。若手の会全体の運営を執り行う。
 - **会計係**：若手の会事務局と夏の学校事務局の会計係を統合し、両方の会計運営に携わる。
 - **サーバー係**：若手の会事務局のWeb係と夏の学校事務局の広報係を統合し、両方のサーバー管理業務に携わる。
 - **夏の学校事務局**：従来の夏の学校事務局と同様。
- 全ての係において、若手の会の会員になることを義務付ける。
- 新しい組織形態下では若手の会の会費を無料とする。
 - 夏の学校の参加費に含める形で、サーバー代やドメイン使用料の徴収が可能であるため。
- 各役員の承認は前年度の3月の春季総会のタイミングとする。これにより全ての係の任期が1年半となる（ただし実働期間には係ごとの差がある）。
- 新体制への移行は2023年9月から。

組織図再編案



○さいごに

- 会員の活動の変更点として際立っているのは、「会費の徴収がなくなること」「再編に伴って規約を変更する必要がある、そのための議決が必要になること」です。
- 基本的に運営する側の形態が変わるだけで、業務内容や会員のステータス等には変更はありません。
- 今後も天文・天体物理若手の会の意義ある活動にご協力いただければ幸いです。

若手の会ホームページ紹介

<http://astro-wakate.org/wakate/>

ホームページでは、若手の会の活動内容や規約等を閲覧できます。若手の会への入会は随時募集しています。近くの大学や研究室にもぜひ周知していただけるようお願いいたします。

天文・天体物理 若手の会

HOME ABOUT 入会 規約 所属機関 サーキュラー 外部リンク 会員用 お問い合わせ

HOME

ここは天文・天体物理若手の会の公式ホームページです。

● サイトマップ

- 【若手の会が何かを知りたい】 [ABOUT](#)
- 【入会の方法を知りたい】 [入会](#)
- 【規約を知りたい】 [規約](#)
- 【内部資料を見たい】 [会員用ページ](#)
- 【過去のサーキュラーを読みみたい】 [サーキュラー](#)
- 【質問がある】 [お問い合わせ](#)

● 会費

入会費、年会費ともに0円（2022年度）

※2022年度以降は会費が発生する可能性があります。会員権は年度ごとに更新機会がありますので、2022年度の会費を見た上で2022→2023年度の会員権更新をすることが判断していただけます。

● 入会手続き

入会は随時受け付けております。

2022年度の入会はこちらからどうぞ（入会用Googleフォームに移動します）。

パスワード付きの会員用ページでは総会資料や議事録などの内部向けの資料を公開しています。パスワードは年度ごとに更新されます。2022年度のパスワード：

(2022年11月22日のメールをご確認ください)

※二次配布はご遠慮ください。

若手の会 HP のより良い在り方、必要とされるコンテンツなどは、現在の事務局も手探りで模索しているところです。良いアイデアや要望がありましたら、事務局まで。

第8期代議員募集のお知らせ

○天文学会の代議員とは？

日本天文学会の運営に携わり、天文学会の諸問題や改善案等について議論。任期4年、2年ごとに半数改選。

若手の会からの代議員を選出することで、天文学会の運営に若手研究者の意見を反映しやすくなる。

○第7期代議員

2021年秋に選挙。若手の会からは谷口大輔氏が当選。
任期：2022年4月-2026年3月

○第8期代議員

2023年秋に選挙。若手の会として第8期代議員選挙への立候補者を一年間にわたって公募。

質問等がありましたら、お気軽に事務局へ問い合わせください。

関連サイト

- ・日本天文学会の概要 <https://www.asj.or.jp/jp/about/outline>
- ・代議員選挙施行細則 <https://www.asj.or.jp/jp/about/articles/#daigi>

編集後記

今年是对面での研究会参加が増え、ようやく大学院生らしい研究生活になってきたと実感しています。今まで名前だけ知っていた人と初めて会って議論したり、発表後の飲み会で仲良くなったりと、対面ならではの経験がたくさんありました。

来年はさらに対面開催が増え、様々な場所で、皆さんと会う機会が多くなると思います。学生同士の交流も若手の会の目的の一つです。見かけたときに声をかけてくれると喜びますので、よろしくお願ひします。

ちなみに、表紙の「天文学者」の絵は私の趣味で選びました。知らなかった方はぜひ調べてみてください。

書記・広報 大滝

2022年度天文・天体物理若手の会サーキュラー第1号
発行 2022年11月22日
編集 若手の会事務局 書記・広報 (大滝・武者野)